

2024年度 高等学院同窓会学術研究奨励金
研究成果報告書概要 (WEB 公開用)

高等学院長
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [堀田俊哉]

学年・組・番号 [1年C組15番]

研究課題: パソコンでの作業を主体とした作曲であるDTMを行い、オリジナル楽曲を1曲制作し、音楽、作曲に対する理論への理解を深める

(英文) Deepen my understanding of music and composition theory by creating an original song

研究概要:

(研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について200~400字で記入してください)

今回研究をしようと考えた動機は、「音楽を通して、自分の感情や考えを形にしてみたい」という純粋な興味からです。様々な音楽を聴き、作曲家や音楽理論を学ぶ中で、音楽が持つ表現力の豊かさに魅了され、自分自身も創造的な活動に挑戦したいと考えるようになりました。また、音楽は人々の心を動かし、共感を呼ぶ力を持っていると感じており、その力を自分の手で体験したいという思いも研究の動機となっています。そこで中学部でコンピューター研究部に属していた経験を活かし、パソコンで行う作曲である「DTM」を行い、自分自身の音楽に対する感性を磨こうと考えました。具体的には、バンド形式のオリジナル楽曲を一曲制作し、その楽曲を作曲のコンペティションに提出した上で客観的に自分の楽曲を評価、分析を行いました。

研究成果:

(研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について200~400字で記入してください)

今回の研究では学校から提供していただいた資金を元にギターへの録音に必要なオーディオインターフェース、ボーカルのピッチ、タイミング補正を行うソフトを購入し、バンド形式のオリジナル楽曲を一曲制作しました。予定していた作曲のコンペティションが中止になってしまったため、急遽学内の友人から楽曲に対する感想、批評を貰い、作品に対する客観的な評価を得た上で分析を行い、音楽理論の視点から作曲そして音楽に対する解像度を高めることができました。

研究結果から作曲の作業のうち各楽器のアレンジメント能力、そしてSNSやサブスクライブに投稿する際に好ましい形式に仕上げる能力が自分には足りていないと感じました。

今回の研究を活かし、これからの音楽シーンで活躍できるようなコンポーザーを目指し精進していこうと考えました。

研究代表者 堀田俊哉

研究分担者 なし

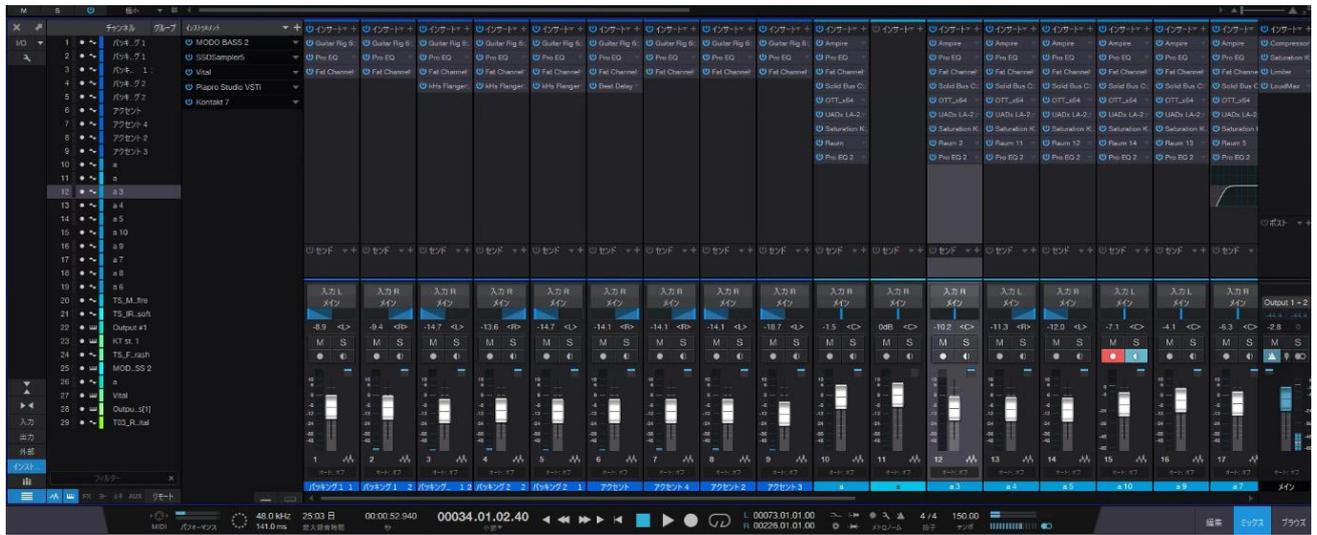
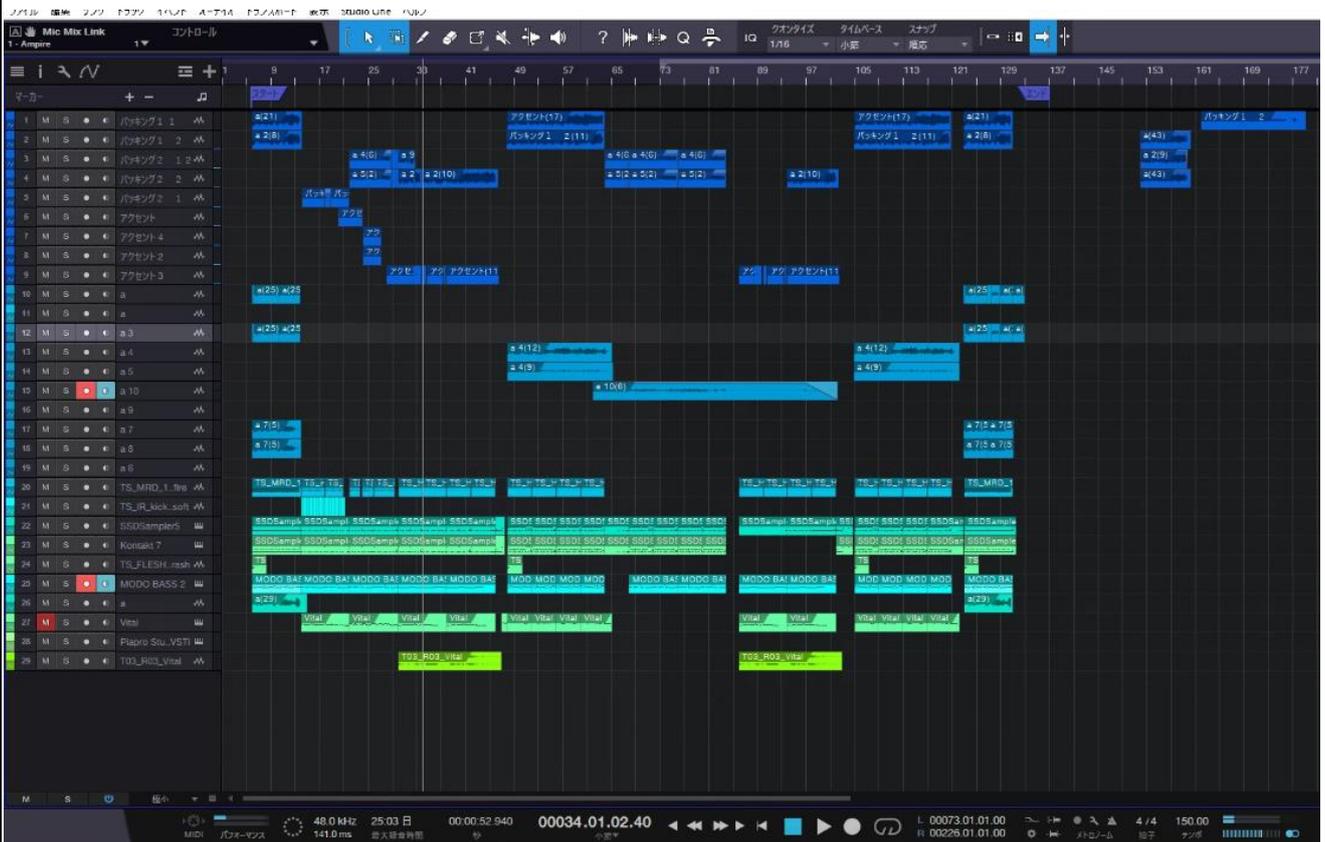
担当教諭 鍋島豊教員

(受給額: 26000円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名がWEBページ上で公開されることに同意します
(次のページに続きます)

研究成果写真:

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)



以上